

我が町

50年の歩み

教育と保健施設の充実

県下に先駆けて教育振興運動に取り組み、教育施設の整備を積極的に進めました。分校だった葛巻高校の独立も実現。葛巻病院や母子健康センター、保健福祉施設の充実に力を注ぎました。

昭和30年代

産業の振興とともに「町民の幸せは健康であること」を基本とし、公衆衛生思想の普及啓発、母子衛生をはじめとする保健行政に積極的に取り組みました。

医療と保健の町づくり



33年 新築した葛巻病院(上) 病床数28床



35年 町内で小児マヒが大流行

36年 ソ連から輸入した小児マヒ生ワクチンを日本で初めて投与。無菌性骨髄炎などから未熟児を救うため、各地区に保健婦補助員を設置



38年 新庁舎が完成（現在は郷土資料館として利用）



40年 教育振興運動推進委員会の会議。「子どもに勉強部屋を与えよう」「きれいなことばを使いましょう」「健康な町を築きましょう（体をきれいに）」が実践目標



43年 全国地方自治優良町村受賞記念式（葛巻小体育館）



45年 葛巻高校となって初めて行われた運動会。かつての名物・仮装行列



48年 完成直後の葛巻病院（病床数60床、眼科新設）と養護老人ホーム、手前の空き地は役場建設用地